

# 株式会社山田製作所

所在地：愛知県刈谷市 設立：1955年 資本金：1,000万円 従業員数：52名  
事業概要：精密小物プレス部品・金型製作

## 効果を定量的に分析した業務改善と 工夫ある人事評価で意欲あふれる職場へ



代表取締役  
山田 慎一郎

### 取組の内容

- 業務時間内に、業務改善提案・取組を社員がチーム単位で実施。改善の見込み、費用、効果を定量的に分析し、無駄な時間や費用をどのくらい削減できるのかを細かく明示するようにしている。
- 業務改善によって得られる定性的な効果も、社員にアンケートをとることで数字として表現するなどし、分かりやすく社内に共有している。
- 業務改善提案・取組を経営層によって評価し、評価に応じて報奨金を支給しているほか、人事評価にも反映している。評価では安全性を重視。
- 通常の人事評価以外に、周りの社員からの360度評価や、社員としての勤務態度（礼節、責任感など）を評価する「心得」という仕組みを使用。「心得」の項目は社員によるディスカッションや社員からの意見収集を経て決めている。
- 「心得」の内容や多能工化を含む業務目標を各部署で設定し、それぞれが目標達成に向けて活動を行っている。
- 各社員のスキル達成度を示す力量表を作成し全社員に公表している。

### 取組の効果

- 社員が行った業務改善提案・取組の効果を自ら定量的に分析することで、自身の取組がどのくらい会社に寄与しているかを実感できるほか、より公平な基準で評価を受けられ、意欲的に業務改善に取り組むことができるようになった。
- 「心得」の項目を社員同士のディスカッションなど基に決めることで、社員が共に働きたいと思える人物像を評価として設けることができ、その達成に向けた行動を前向きに考えることができるようになった。
- 力量表の公表により、社員は自分の現在のスキル達成度を客観的に確認することができ、目標が立てやすくなった。
- 意欲あふれる職場ができたことにより、離職率は極めて低い水準となっている。